

公 表

第 6 1 回 技能五輪全国大会「タイル張り」職種採点基準

1 採点方式

採点は、加点方式とし、採点項目ごとに加点を行い、100点満点とする。

2 採点項目及び配点

採点項目及び配点は、次のとおりとする。

採点項目			配点
施工法	段取り	手順の良否・墨の出し方・表し方。	100
		図面の見方・作り方。	
		タイルの割付け。	
		タイル加工・仕上げ方。	
	張付け	モルタルの扱い方。	
		こてさばき・張り方・納め方。	
	仕上げ	目地の掘り方・塗り付け。	
		仕上げ方・清掃の方法。	
外観	目地のとおり・目地幅のそろい。		
	水平・垂直・平面精度。		
	張付け周囲のモルタル処理。		
	加工タイルの仕上がり具合。		
	総体的な出来栄え。		
	清掃の良否。		
作業態度	不安全作業	不安全行動をしない。	
		作業に適した服装。	
	整理整頓	整理・整頓をする。	
		材料・工具等の取扱。	
品質管理	壁及び床の墨出し。		
	タイル加工用施工図を用いたタイル加工。		
	課題製作図に基づいて製作。		
	不良タイル（割れ・欠け）の有無。		
	タイル加工の寸法。		
	切物の向け方。		
	目地掘り清掃の有無。		
	任意の数箇所におけるタイル裏面のモルタルの付き具合及び回り具合。		

精度	寸法	任意の 5 箇所を測定する。 測定箇所は、構造全体が 3 箇所（高さ：1 箇所、幅：2 箇所）、 加工タイルが 2 箇所である。
	角度	角度（90 度）を確認するため、任意の 5 箇所にさしがねを当て その間隙を隙間ゲージで測定する。 測定箇所は、壁面と床面との角度、施工面の角度、あわせて 5 箇所である。
	平面	平滑性を確認するため、施工面や端面の任意の 5 箇所に定規を当て 隙間を測定する。 測定箇所は、施工面が 3 箇所、端面が 2 箇所である。
	水平・垂直	水平性・垂直性を確認するため、任意の 5 箇所に水準器を水平・垂直 に当てタイルとの間隙の最大値を隙間ゲージで測定する。測定箇所は、 壁面の垂直が 2 箇所、壁面・床面の水平が 3 箇所である。
材料・再請求		材料再請求の有無。
作業時間		標準時間内の作業完了。